

日なち

宝龍会
第33号 龍詩護持会

(平成23年2月)

人生と山登り

年々早く感じるのは私だけでしょうか？
お正月には親子で金華山に登ってきました。6歳になつたばかりの娘は初挑戦！金華山には色々なコースがありますが、初挑戦にしてなせだか一番きつい馬の背というコースに登ってきました。途中で何度も休憩しズボンがドロドロひざはすり傷まるけの中休憩ポイントで景色を眺め空の中の雲の動き、自然の中で木々の間の中にいる自分達の心が穏やかになるねと自然界の持つパワーはすごいなと改めて感じました。
普段の生活は次々に時間に追われ体も心もリラックス

する事さえ忘れているかもしれませんね。

で「ぼ」道や何かに掴まらないと登れない道を、娘を引、張り上げたり、後ろから支えながら、ひたすらお城'に向か、て歩いていると少し平らな道になると、すごく楽に歩ける感じを体感しながら「人生も同じなのかもしれないね。」と主人と語り合、てしまいました。

きつい道'があるからこそ少し緩やかになると有り難さも感じ、楽に感じ、るんだと。。。

普段はゆ、くり会話する事も出来ない中のとても充実した時間となりました。

何よりうれしか、たのは、それ違う人達が「後少しだ」よ。頑張れ。」などと、どの人からも声をかけてもらい、どの人とも挨拶しながら励まされ登りきる事が出来た事'がありがたか、たです。

今の日本に足りないものが、山登りを通して体感できた気がします。

今月は節分です。1年の中の大切な日本の文化です。

今の時代部屋が汚れるのがとしない方もみえるかもしれませんが、家族揃って豆まきをし、子供達と一緒に
なつていい気を家中に取り入れ、子供達に伝えてい
たいです。

今年の恵方は南南東です。皆さんも恵方に向か
丸かぶりしてみてください。🍀🍀

やってみると楽しいですよ😊🍀🍀

追伸 矢月の18日に山梨から進藤上人様が龍
正寺に来て下さいました。

女はくノ一(くのいち)で変化のお話をし
下さり、女という字は姓、娘、嫁、姉...と
色々な物を背負っていくけれどその分辛さも感
じられるよと言ってくれた時、今の自分が嫁にな
って子供を受け取り家庭を持つたせくもらえてい

る事に改めて感謝だなぁと思いました。

大変な事ももちろんありますが、お金では買う事が出来ない物を日々の生活の中で沢山もらっています。いっしょに姑...と私自身色々な事を感じながら変化していけるように努力していきたいと思っています。

進藤上人様、足元の悪い中、来り下り有り難うございました。

又ホームページでも法話の内容を見て頂く事が出来ますので、皆さん見てみて下さい！！



♪ .. 女小生の幸せ .. ♪

節分の時期になりますね!! この時期になると 娘が生まれてからは お雛様を出す事が恒例になりました。

楽しいな行事の一つでもあります。今年は2歳になった娘が もしかしたら お手伝いをしてくれるかもしれません。ちょっと楽しみです。

今日 1月18日の例祭に2年前に来られた山梨忠安寺の進藤上人様がおゆえになりました。例祭に参加された方は ご存知かと思いますが。2年前の時には娘の誕生の事をお話して頂きあまりの嬉しさに胸があつくった事を思い出します。授けて頂いた尊い命を本当に大切にしていきたいと思えます。

今回の法話では「女性の幸せ」...「^{くわい}くノ七変化」についてお話して頂きました。(ホームページにて動画で掲載してありますので是非ご覧下さい)

とてもユーモアがあつ分かりやすく楽しい時間になりました。何だか自然に笑みがこぼれて私自身も癒されました。

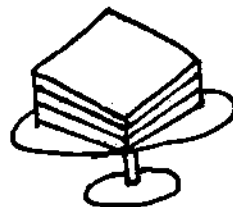
女小生として 生まれ七つの変化をとげるというお話、私自身

あまり考えた事はありませんでしたが、お話を聞き女性として生まれた事は本当に大変な事も多いですが、幸せな事だと感じました。女性は結婚したり子供を産んだりその他にも色々な変化をとげながら絶えず誰かを自然に支え続けるという事は本当に幸せな事ですね。自分の存在の重さを感じました。そこには絶対に努力が必要になるかとは思いますが、その努力も次々と次の世代に繋げていく為には絶対に必要な事だと思えます。女性が好き勝手な事をやっていては基本が崩れてしまいますね。やはり重要な存在だと思えます。私自身もより素敵な変化を遂げていけるように自分磨きもしていきたいと思えます。

今回このような素敵な法語をお聞きする事が出来て本当に有り難く感じました。

進藤上様 本当にありがとうございました！！

今回この機会を頂いた、龍正寺 佐口上様にも感謝します。



ふくはうち おにもうち

「日蓮宗では鬼も内なんだよ。」

私が龍正寺にお参りさせて頂くようになって7年目になります。初めて参加した節分で父から伝えられた言葉でした。今までと違ったことを突然言われて戸惑う私に続けて父は言いました。



「日蓮宗では鬼子母神さんをお祀りしてあるだろう。鬼は外って言ったら鬼子母神さんを外に出さなくてはならなくなるからね。」そして、こうも言いました。

「鬼子母神さんは顔は鬼のような怖い顔をしているけれど、頭には角がない。だから本当は漢字も鬼でなく、鬼から一本取ってあるんだよ。」そしてこう紙に書きました。「・」と。

ただそれだけが今までに経験した節分と違っていましたが、他は同じでした。昔から行われている豆まきなども行われます。(さすがに後かたづけが大変なので、豆まきは袋に入った豆を使いますが・・・)

それまでも父は私に対して日蓮聖人とかご祈祷の話とか色々してくれていましたが、興味が無くほとんど聞き流していました。恐らく同じような鬼子母神様の話も聞いていたのですが、全くと言って良いほど覚えていませんでした。

豆まきだけでなく、「いわしの頭をひいらぎの枝に刺したものを門戸に立てて邪気の侵入を防ぐ」ということを同時に行うと言うことも、この日なたを読んで初めて知りました。(平成21年2月発行第9号)以前の自分だったら、そんなことにも興味を示さなかったかも知れません・・・

実はタイトルの「ふくはうち おにもうち」は絵本のタイトルで、新聞の広告に載っていたのを偶然見つけたものでした。タイトルを読んだ瞬間、上述のような光景が頭の中に広がりました。そしてこのタイトルを見た瞬間「これは、きっと日蓮宗に関係のある本に違いない。」と思い込み内容もよく調べもせずにインターネットで早々と注文を済ませました。注文のボタンをクリックした後、急にその内容が知りたくなったので2～3のホームページを調べてみました。すると、その本は絵本で日蓮宗と何も関係がないと言うことが分かりました。

以前の自分であつたら、全然関係のない物を注文してしまった。もったいない。どうしよう。返品できないだろうか・・・などマイナスの考えばかりしていたでしょう。ですが、最近では、全く関係ないものでも何か役に立つかも知れない。と少しずつですがプラス思考になり前向きに考えられるようになってきました。

先日注文したした絵本がやっと届きました。少しワクワクしながら中を見てみるととても綺麗な色づかいの絵本が中から出てきました。「こんな不思議な出会いをした絵本なので何かのご縁かもしれない。一人で楽しむのはもったいないので皆さんにも楽しんでもらおう。」と思い本堂の「布教コーナー」しばらく置かせて頂くことにしました。興味のある方は役員に声をかけて下さい。



作:内田麟太郎 絵:山本孝

DVDを作成しました

先月の日なた（平成23年1月）でもお伝えしましたが、今年は元旦祈祷会で「十字御書」を一部だけでなく、全文檀信徒の皆様で上げさせて頂きました。檀信徒の皆様と同じ事が出来ることに喜びを感じています。

また、大祭・例祭に関係なく法要終了後に佐口上人が法話をされます。

昨年から大祭・例祭の一部ですが、その様子をインターネット上の動画共有サイト（YouTube）にて公開しています。実は年末に遠く関西方面に住まわれている昔からの信者さんから突然「インターネットで佐口上人の法話を聞いた。これからも楽しみにしている。」という旨の電話を頂きました。遠く離れた土地に住まわれている上に高齢になられていると言うことで、疎遠になりがちだったのですが、インターネット上の動画を見られて、また岐阜にいる時のように身近に感じて頂けるようになり、嬉しく思いました。

元旦祝祷会には、実にたくさんの方々をご参詣して下さいました。しかし「色々な事情があり当日参加できなかった。インターネットをやっていない。」といった方もいらっしゃるだろうと思いそんな方々にも当日の様子が分かればと思いDVDを作成しました。

内容はインターネット上でも公開している動画2本（十字御所と佐口上人の法話）



と当日の様子を撮影した写真で構成したスライドショー（紙芝居みたいな物をイメージして頂ければ良いと思います。）です。

例祭や大祭の法要前・後に本堂のパソコンにてその画像を流すようにしますので興味のある方はご覧下さい。また、本堂でゆっくり見ている時間がないという場合、DVDの貸し出しも出来ますので、気軽に役員に声をかけて下さい。よろしくお願いします。

DVDのメニューです

★ホームページに「日なた」の第1号～19号までを追加公開しました。

平成23年元旦より、「日なた」の全ての号をご覧頂けるようになりました。

ホームページは www.ryusyouji.com と入力して頂くか、『龍正寺』と検索して頂いてもご覧になれます。

♡ 女の幸福 ♡

皆さんは「女の幸福」って何だと思えますか？

1月18日、鬼子母尊神、七面大明神祈禱会に
甲斐市忠安寺の進藤上人様が、前日の大雪の為、足元の悪いなか唱題行行脚をしながら龍正手に来て下さいました。法話は「女の幸福・くの七変化」です。

「女」という部首がつく漢字「姓」、「娘」、「男」、「好」、「嫁」、「媿」、「姑」の七文字から、女の人生の七変化して行くなかでの、力強さ、たくましさ、優しさそして素晴らしさをおもしろく、おかしく、そして大きな感動をあたえて頂きました。

私は今まで、自分自身が女性である事をあまりうれしく思っていませんでした。男だったからと人生の中で、色々な事が出来たのに…。女なん？つまらない！とそのような事を考えていました。

しかし、今回進藤上人様より女性の大きな力、魅力などを聞くにつれ、「女性、てまごい、女でよかった。」と

心から思う事が出来ました。

私は19オで姓が変わり、娘から嫁になりました。

そして嫁になると同時に母にもなりました。

また、子供に毛がはえたほどの私には、嫁先である
「家」に馴染む事、妻になり、母になる事、そして嫁として…。
このどれも大変な事でした。

大姑、姑、小姑にもまねながら一生懸命努める事、何を
どのようにして良いかもわからず、失敗の連続と数々の
涙を流しながら、少しずつ大人に、母、嫁になれた気がしま
す。

しかし、自分の人生を今！振り返り時、妻の部分(女の部分)
は傲慢になっていた気がします。

どこか、子育て、親の面倒を私一人で背負っていたと
自惚れていたように思います。強引な私の意見を黙って
聞いてくれていた主人がいてくれたから、私はわが家であ
お天下様でいられたのだと気づく事が出来ました。

法話の中で「子供と母親は血でつながりがあるが
主人とはあかの他人……。」という言葉に深く、深く頷く私に

「イヤそれは違う...。」との御指摘になお一層深く、深く反省しました。

現在、子育ても終わり、両親も他界して年に一回、仕事の都合をつけて旅行に連れ出て行く主人。

今年は一泊二日が出雲大社、鳥取砂丘へ行く予定です。会社の人に「嫁さんと来世も一緒に暮れるように、出雲さんにお参りに行って来る！」と言ったと楽しそうにそんな話をしてくれます。主人に感謝です。長〜い夫婦生活の中では口を利かない時もありました。顔を見るのもイヤな時もありました。しかし、今は二人で今度はどこへ行こう。映画は何を見に行こうと、今までの足りなかつた分を取り戻そうと思います。結局、最後にはまた夫婦二人です。

新婚時代のなかつた私には今が新婚 いや古婚時代です。しかし、古い分 味はしっかりとしみついてきつとおいしい夫婦になっています。

顔はシミ、シワでワジャワジャ、髪は白と黒でミックスですが何も言わなくても、そばにいますだけでホッとできる空気のような二人になりました。

今、私にとっての最高の幸福です。

かなり時間がかかりましたけど…。今度は“姪”、“姑”になつていく私です。どんな老い方をしていましようか？
どんな姑になれるでしょうか？楽しみです。どうであれ
今世にて「女性でよかった!!」と言えるような人生を送りたいと思います。

女の七字・御題目の七字・南無妙法蓮華経は私には
感謝・感謝の七字です。女の七字の中には、南無妙法蓮華
経が刻まれています。

女の幸せ・一度の人生の中で七変化できる事かも知れません
ね。どんな場所・立場になつても幸せを心より感じて
います。気づかせてくれた事に心より感謝して
おります。

※是非、龍正寺のホームページを御覧下さい。

動画サイトにて今回の法話もありますので、

女性である事の喜びを感じて見て下さい。

<2月の予定>

2月7日(月)

?

12日(土)

13日(日)

14日(月)

?

17日(木)

各々の時間 2"

終了後

各々の時間 2"

≡清掃・≡準備≡活動

お供物準備

片付け・準備

≡清掃・≡準備≡活動

お供物準備

<寺院行事内容>

2月13日(日)

午前10時より

{ 宗祖降誕会
宗祖日蓮聖人報恩会
釈尊涅槃会

2月18日(金)

終了後(午後2時~)役員会

午前10時より

鬼子母尊神・七面大明神
祈禱会

<住職行事内容>

2月14日(月)

布教師会